

# 村の発明家が親子でオンリーワン商品の販売へ

くろそん川・減脂人（高知県）

創業：平成27年2月 四万十市西土佐で父と娘で営む食品企業。生芋と樫木の灰汁から完全手作りのしゃぶしゃぶこんにやく麺を商品開発し、地元直販所等で販売中。

## 1. 相談のきっかけ

- ・独自の技術で、生芋と樫の木の灰汁を原材料とする「しゃぶしゃぶこんにやく麺」を商品化し、地元のイベント等で販売していたが、販売先の確保等に悩んでいた。
- ・商品開発の指導を受けていた四万十市雇用協議会の紹介で当拠点を紹介され来訪。

## 2. 課題整理・分析

- ・強み
  - ①こんにやく生芋や樫灰など原材料へのこだわり及び完全手作りのオンリーワン商品。
  - ②四万十市奥屋内・黒尊川の清流や優れた自然環境で製造していることなどの付加価値。
- ・課題
  - ①正確な原価計算が出来ていない。
  - ②販売方法や販売先の確保など明確な販売戦略の欠如。

## 3. 解決策の提案

- ・販売戦略を構築するとともに、地元幡多地域及び高知市、県外（通販を含む）ごとの販売先を精査し、ピンポイントの営業活動をアドバイス。
- ・営業活動経費を確保するため、西土佐商工会の指導を受け、小規模事業者持続化補助金を申請することをアドバイス。
- ・中期的な販売戦略を構築するため、専門家派遣事業を活用し、田舎まるごと販売研究家・松崎氏の指導を受けることをアドバイス。



## 4. 成果

- ・地元道の駅や直販所をはじめ高知市の飲食店に販売先を確保することができた。
- ・平成27年度小規模事業者持続化補助金に採択されHPの作成や営業活動経費等を調達する。また、継続的に商工会の支援を受けて原価計算の支援を受けることとなった。
- ・松崎氏のアドバイスにより、中期販売戦略を構築する。
- ・地元で商品が定着したことに加えて、東京のオーナーシェフへの営業や地産外商公社を通じた販路拡大を展開をしている。
- ・事業の本格化に伴い、県外に転出していた長女がUターンし、共同経営者に就任する。これにより、こんにやく麺の生産性の向上と営業力が更に強化されることとなった。

